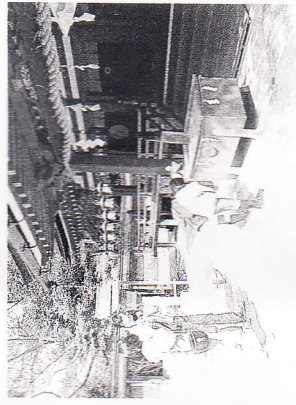


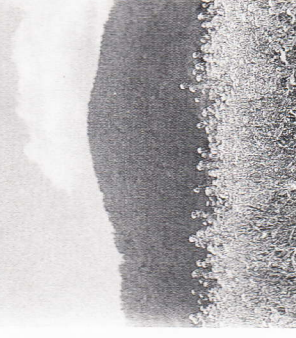
いにしへの道をたどり歴史を探访する 山の辺の道

やまのべのみち 地図P12/D12

近鉄桜井駅(45分)大神神社(45分)檜原神社(1時間
20分)長岳寺(2時間30分)近鉄天理駅



万葉集にも歌われている石上神宮

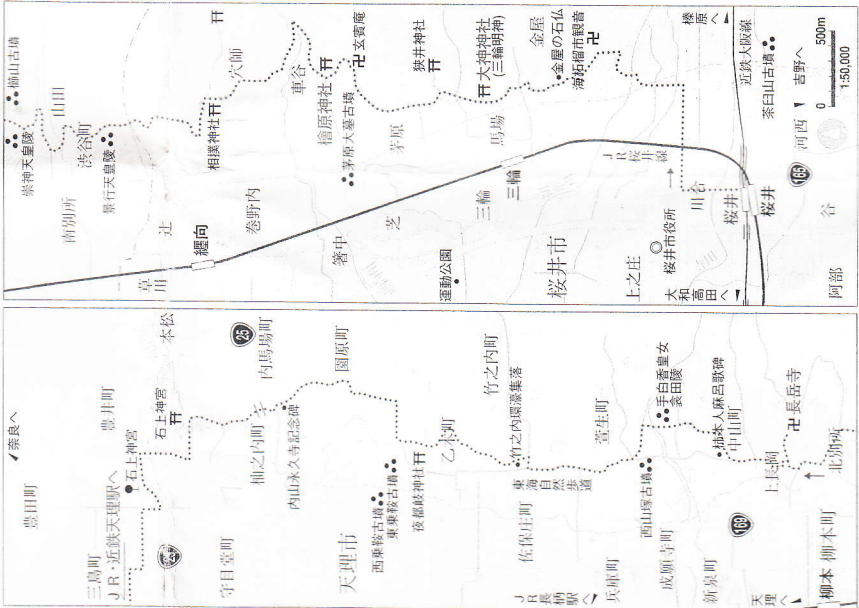


菜の花が彩るのどかな山の辺の道

日本最古の道として知られる山の辺の道は、大和盆地の東の山裾を南北に走るように、奈良市から桜井市三輪へと通じていた古道。全長は35km程度、現在はそのうち三輪から天理にかけての約15kmがのどかなハイキングコースとして整備されている。桜井駅から山の辺の道を目指して進むと、前方に見えてくるお碗を伏せたようにこんもりした山が三輪山。素麺作りの里で知られる静かな町並みを

過ぎ、分岐を右へ、坂を登っていった右手に見えるのが重要文化財の金屋の石仏。田畑を抜け、平等寺から大神神社(三輪明神)へ。神秘的な趣さえ感じられる深い木立ちの中を、玉砂利を踏みしめながら進んで行く。三輪山を御神体とするために、神殿というものは無く、正面に三ツ鳥居を立てて、その手前の拝殿

から直接山を拝むようになっている。灯籠が立ち並ぶ坂道を登ると奥に、狹井神社がある。ここは三輪山の登山口でもあり、約1時間20分で山頂までを往復できる。今回は立ち寄っていないが、時間があれば、ピークを目指すのもいだろう。拝殿奥には水場として人気が高い薬井戸「狹井のお神水」もある。



道端にはとれたての果物や野菜を売る無人販売所が見られる

道は歩きやすい自然道になり、一面の菜の花畑やれんげ畑の間を、のんびり歩くことになる。大和三山が一望できる、大和の杜展望台から、川沿いにしばらく登る。玄寶庵からさらに細い山の端の道をしぼり行くと、檜原神社がある。境内は広々としていて展望もよく、特に二上山に落ちてゆく夕日の眺めは素晴らしい。気持ちの良い山の辺の道の風景を楽しみながら山裾の道をたどる。石棺物を抱いた根上り松を見て、古い大きな山門をくぐり、平戸ツツジの美しい参道を進むと長岳寺だ。境内の庫裏では名物の素麺を食べることができる。花畑や果樹園に囲まれた萱生

町と竹之内町は塚原集落で知られた地帯。昔は堀をめぐらし、迷路のような狭い道で外敵を防いでいたのだそう。古びた道の両側に土や板を組み合わせた塀や、狭くて入り組んだ道などに昔のたたずまいが感ばれる。夜稻岐神社を過ぎ、柿やみかんの畑をぬつて、深い樹木に包まれた日本最古の神社・石上神宮に着く。神武天皇が荒ぶる神々を平定したという刀を祭神とした神社で、朱塗りの楼門を行くと、国宝の拝殿が立つ。参道わきにワタカが生息するという鏡池や、拝殿奥には勾玉や管玉などが出土した禁足池などもある。天理本通りのアーケードの商店街を抜けると天理駅だ。

- DATA**
- 歩行時間 約5時間20分
 - アドバイス 歩きやすい道のり、分岐点には道標が設置されているので、迷うこともない。コース付近には歴史的背景が多くなるので、時間に余裕をもたせて歩きたい。コースだ。
 - 交通 近鉄上本町駅から大坂線急行で41分、桜井駅下車。帰路は近鉄天理駅より乗車。
 - 交通費概算 1280円(近鉄上本町駅起点)
 - 問い合わせ先 桜井市役所商工課 ☎07444・2・9111、天理市役所商工課 ☎07436・3・1001、近畿日本鉄道 ☎06・771・3105
 - ポイントアダータ
 - 大神神社 三輪山を御神体とするのが国最古の神社。酒造の神として名高く、関西の酒屋の多くはここで授かる杉玉を軒先につるしている。☎07444・2・6633
 - 長岳寺 弘法大師が大神社の神宮寺として創建。平戸ツツジは5月上旬が見ごろ。10〜17時、拝観300円。☎07436・6・1051